

# おかむら正之

I LOVE KOBE WE LOVE KOBE BE KOBE

**ごあいさつ** 皆様こんにちは、神戸市会議員のおかむら正之です。

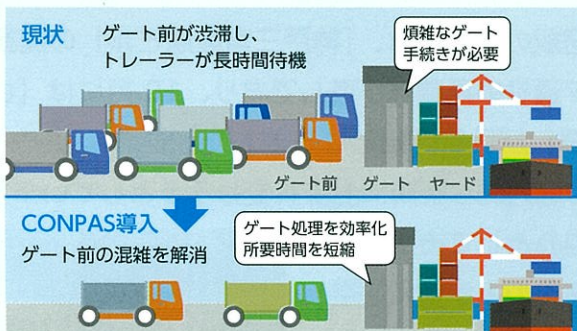
ここ数週間は、コロナウイルスの感染者数が落ち着いてきています。ひとえに市民の皆様のご努力の成果だと思えます。感染拡大第6波やインフルエンザに備え、引き続きマスク・手洗い・消毒等の感染予防対策を続けていただきますようお願いいたします。コロナ後の神戸の未来を見据え、経済・産業・観光の発展に向け、またすべての人にやさしい神戸を目指し、市民の皆様とともに取り組み、全力を尽くしてまいります。

## 神戸港の機能強化について



神戸港は、日本を代表する国際貿易港として我が国の国民生活や産業基盤を支えています。その重要な役割を担うコンテナターミナルですが、近年コンテナ船の大型化に伴い、積卸しするコンテナの数が増加し、搬出入トレーラーの到着時間が集中することでトレーラーゲート前の渋滞が常態化しており、早期の解消が求められています。8月下旬よりポートアイランドPC18コンテナターミナルにおいて、ゲート処理等の効率化や、セキュリティの向上を図るための新・港湾情報システム（CONPAS）の試験運用を実施したところ、1台あたりのゲート処理時間が約6～8割削減されました。この結果を評価し、いち早く本格導入を促進し、より多くの事業者が利用する本格導入後も同様の水準を保つことができるよう取り組んでいくべきと考えます。

「港湾物流」は神戸の主要な産業です。渋滞のためトイレに行くことにすら困難が伴うといった現場ドライバーの声もあり、混雑により影響を受けている人々の労働環境改善のためにも、CONPASの本格導入等、神戸港の機能強化に努めていきます。

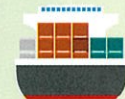


令和3年 第2回定例会



### CONPAS 新・港湾情報システム

CONPAS (Container Fast Pass) は、コンテナ輸送の効率化および生産性の向上を図ることを目的として、国土交通省が開発した新・港湾情報システムです。搬出入予約、事前の搬出入情報の照合により、ゲート処理作業の簡略化、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消を図ります。



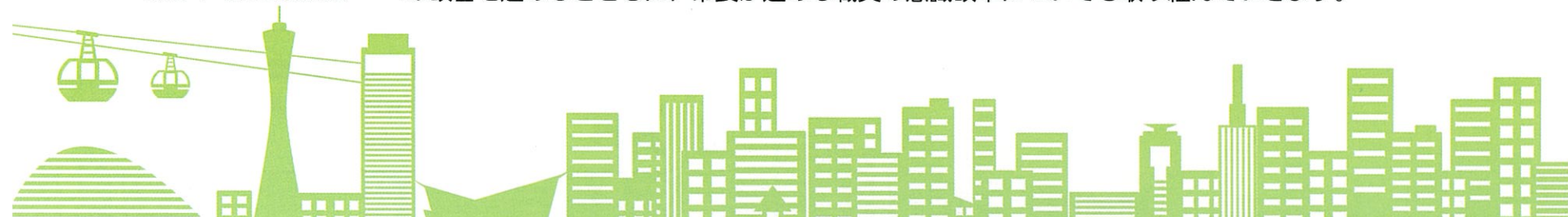
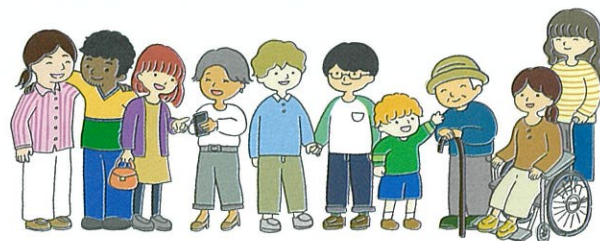
## 誰にでも伝わる発信方法について



令和3年 第2回定例会

神戸市の情報をきちんと伝え、理解していただくために、市民目線・市民感覚を反映した情報発信が必要です。難解な言葉や一般的でないカタカナ語を過剰に使用しないなどの細やかな気遣いを徹底して、すべての市民の皆様に分かりやすい発信に努めます。

また、神戸市に暮らす多くの外国人、特に中央区では区民の1割を占める外国人の方に、生活文化や制度の違いを丁寧に説明し、日本人と外国人が円滑にコミュニケーションを取ることができるようにすることも重要です。市役所ではいわゆる「役所言葉」などの難解な言葉遣いを改め、「やさしい日本語」への改善を進めるとともに、市長が進める職員の意識改革についても取り組んでいきます。



# ウォーターフロントのまちづくりについて



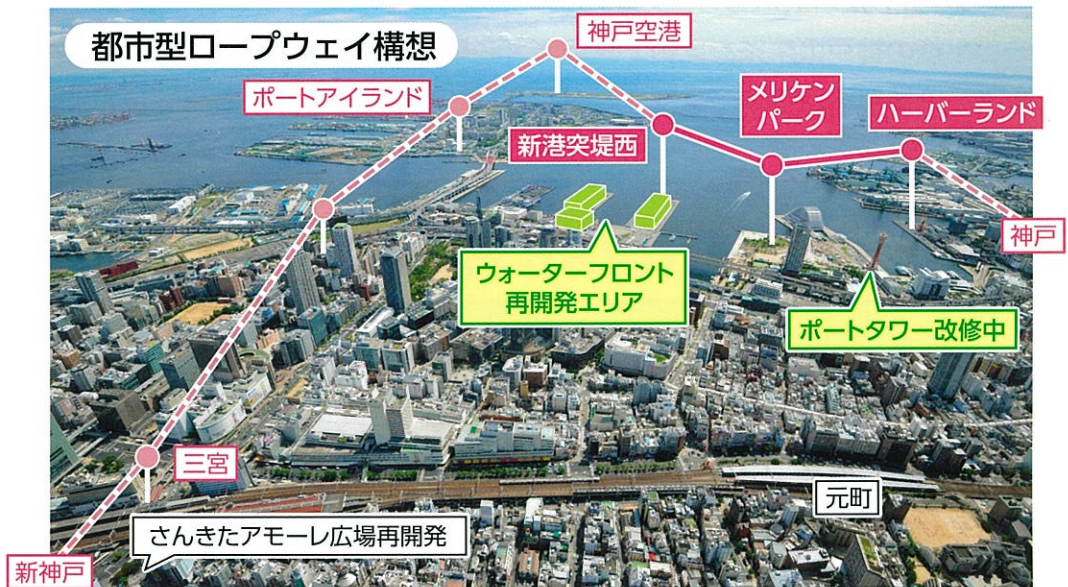
ウォーターフロントにおいては、本年10月末に第1突堤基部に神戸ポートミュージアムがオープンするなど順次再開発が進んでおり、今後の本市の賑わいづくりを牽引する重要なプロジェクトとして非常に期待されます。これら再開発の効果をウォーターフロント全体、さらには三宮・元町へとつなげ、波及効果を高めるためにも、回遊性は非常に重要であり、他都市に負けない魅力的な手段を検討していく必要があります。コロナ収束後のインバウンド需要や国内旅行者の増加を見据え、アトラクションとし

ての魅力を兼ねた観光交通手段として「都市型ロープウェイ」の導入を積極的に検討すべきと考えております。都市型ロープウェイであれば、観光誘客に資するだけでなく、例えばオープンデッキになっている搬器を結婚式に活用できるなど、「ウェディングの街」として神戸ならではの魅力的な移動手段となり得る可能性が広がります。

また神戸の街全体が一体となり、内外からの観光客や市民にとって、利便性の高い交通手段として活用されるために、都心の南北軸であるJR新神戸駅から三宮、ポートアイランドと神戸空港を縦断するルート of 構想を視野に入れていきます。

## 進行中の神戸ウォーターフロント再開発

- 2015年 ▶ 第1突堤にコンベンション施設・温泉宿泊施設開業
- 2021年 ▶ 第1突堤基部に神戸ポートミュージアム(水族館)、チョコレート博物館開業  
▶ 計700戸の高層マンション建設中
- 2023年 ▶ 神戸ポートタワー開業60周年 屋上に展望施設
- 2024年 ▶ 第2突堤に1万人収容の多目的アリーナ建設予定
- 2025年 ▶ 大阪・関西万博



# さんきたアモーレ広場の活用について



令和3年 決算特別委員会

阪急神戸三宮駅の北側では、「神戸三宮阪急ビル」の開業と並行してサンキタ通りの再整備が進んでおり、10月には「さんきたアモーレ広場」が供用開始となりました。このエリア一帯が、歩行者中心の魅力的な空間に生まれ変わろうとしています。

神戸三宮の中心として市民から親しまれ、多くの人を訪れる空間になるよう、にぎわいにつながるような広場の活用方法を検討していきたいと思ひます。



## 新型コロナ ウイルス 感染症対策

(令和3年10月)

### ワクチン接種で命を守る。

ワクチン2回接種率 約**75.4%**へ 世界トップレベルへ  
 ワクチン接種回数 1日平均 **150万回**  
 希望全対象者 **11月中の接種完了**へ

### 経済支援で暮らしを守る。

雇用調整助成金 1日最大 **1万5,000円**  
 飲食店への協力金 最大 **600万円**  
 低所得の子育て世帯への特別給付金 最大 **20万円**

「安全で安心できる暮らし」を一日も早く取り戻せるよう、全力を尽くしてまいります。



発行：自由民主党神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号  
 TEL.078-322-5846

# うえなか 雅子

自民党 Lib Dems

まさこ

<http://uenakamasako.jp>



都市交通委員会にて(2021年12月1日)

## ごあいさつ

令和3年7月からの第5波では、兵庫県で8月18日に1,088人の新型コロナウイルス感染症を記録しましたが、緊急事態宣言を経て、10月からは減少傾向が続いているところです。ワクチン接種の効果は大ですが、市民の皆様お一人おひとりのマスク着用や消毒等々の遵守効果も大であります。

新たなオミクロン株発生による不安はありますが、3回目のワクチン接種のご案内も順に届いてまいります。引き続き、油断することなくご自愛くださいますようお願いいたします。

新たな年が、2年余りのコロナ禍を乗り越え、希望ある年でありますようにと心から願うものです。

神戸市会議員 うえなか 雅子

## 委員会報告

### 交通局

コロナ禍で乗客数減少や人流削減のため、市バスも減便中でありましたが、64系統松が枝回りは1時間に1本しかなくにも関わらず減便され、高齢者や足の不自由な方は夕食の買い出しにも行きづらいつつと苦情を受け、せめて1時台、2時台の減便は止めて欲しいと要望し、それに応えていただきました。

**9月7日から即実施され、住民の皆様の足の確保が実現しました。**



### 建築住宅局

市営住宅の市債権放棄について、保険加入も視野に入れるべきと意見を述べました。

### 都市局

谷上地区の令和4年度見直しの生産緑地は、ほとんどが耕作放棄地となっているため、有害鳥獣が民家に出没し多大な被害が出ています。谷上駅の再整備のみではなく、市街化区域である谷上地区全体の整備を考えていただきたいと、要望いたしました。

### 交通局

「データを活用したバス路線のあり方に関する基本的な考え方(素案)」について、審査をしました。

人口減少、超高齢化の進展による生産年齢人口の減少が、鉄道やバス、タクシー利用の減少となり、公共交通を取り巻く環境が厳しくなっています。また、高齢化や大型二種免許保有者の減少による運転士不足で、持続的な路線バス事業の維持が困難になっています。

発車時と降車時の2タッチ化により、乗降データを取得します。現在のIC化率は約67%です。現金、磁気定期券や市バスカード等を利用する残りの33%の状況把握や、

利用者数減による小型バスへの変更、または他局との連携によるコミュニティバスの導入等、地域の実情に応じた交通手段により、きめ細かな持続可能な交通環境の維持を願い、質問と要望をいたしました。

今後、IC化率向上を目的に、市バスカードは廃止し、ICOCAカードによるポイントサービスへ移行、磁気定期券も廃止され、IC定期券へ移行されます。

廃止	移行後
市バスカード (令和4年3月末利用終了)	ICOCAカードによるポイントサービス (ポイントサービスは令和3年3月から開始)
磁気定期券 (令和3年12月末販売終了)	IC定期券

今回は都市交通委員会に所属し、交通局、建築住宅局、都市局の審査に努めています。

令和3年9月2日

令和3年12月1日



## 新型コロナウイルス第6波対策について

### ■保健師の増員

保健師の体制強化として、令和2年度中途採用と令和3年度採用で45名の増員を行い、さらに令和4年度採用で約50名を増員予定。

令和2年度当初	令和3年度当初	令和4年度予定
201名	246名	300名

### ■病床の確保

神戸市では、感染拡大時には最大411床を確保(12月9日現在)。兵庫県では、1,357床から1,417床への増床を計画。

### ■ワクチン追加接種の促進

初回接種(1回目・2回目)を受けた18歳以上の全市民を対象に、2回目接種終了後、約8か月経過した日を目処に、接種券を順次毎週発送予定。

### ■新たな予約方法(おまかせ予約)の導入

令和4年2月以降(一般市民への追加接種が本格的に始まる時期以降)、かかりつけの診療所、病院がない方を対象に、神戸市が接種場所と日時を指定する新たな予約受付方式(おまかせ予約)を導入予定。

### ■後遺症相談ダイヤルを開設

【受付】平日・日曜 午前10時～午後5時 【対象】神戸市民のみ  
【電話】078-322-6037

## 旧北区役所跡地活用について(素案)

旧北区役所跡地は、隣接する北区文化センターの機能を移転し、新しい北区文化センターの用地として活用します。



(仮称)  
新北区文化センター

- ・北区文化センター(体育館を含む)
- ・北図書館
- ・すずらんだい児童館
- ・駐車場

A 北側

南側 B

※現時点での想定機能

北区文化センター	体育館、地域活動・文化活動にご利用いただける諸室など
北図書館	お話の部屋、多目的室、自習室、交流スペースなど
すずらんだい児童館	児童館、学童保育

## 危機管理室

### 1 市の補助金により設置された防犯カメラの適正な運用について

【質問】 植中雅子

神戸市では、地域団体が行う防犯カメラの設置費用の一部に対する補助を実施している。補助金には市民からの貴重な税金が使われており、各団体が適切に運用するよう、神戸市から働きかける必要があると考えがどうか。

【答弁】 山平危機管理監

平成24年度から事業が開始され、令和2年度末には802団体で2,745か所設置されている。令和3年度は91団体、139か所の応募がある。適切に管理運用していくため、①危険箇所についての地域安全マップを作成する。②管理責任者の設置、記録した映像の保管方法、保管期間、映像の提供の制限を決めた管理運用規定を作成する。③防犯カメラで撮影していることを示す標識の表示をお願いしている。さらに、プライバシーに関するトラブルを未然に防ぐため、撮影範囲に住宅等が含まれる方への同意も取るようお願いしている。設置後6年を経過した防犯カメラについては、更新補助の制度もできているが、一部抽出し、アンケート等による調査を考えている。県警と連携した稼働状況の調査も考えながら、市内の補助カメラの稼働状況について、適切に運用されているか調べていきたい。



### 2 ドローンのさらなる活用について

【質問】 植中雅子

近年、ドローン技術は目覚ましい進歩を遂げており、空撮や物の運搬だけでなく、土木や建築、農業、林業など、幅広い分野での活用の可能性が広がっている。危機管理室においても、外出自粛やワクチン接種の呼びかけ、新型コロナウイルス感染症対策の音声広報をし、平成30年度の豪雨災害では、被害範囲の確認や土石流流出経路の撮影を行うなどの活用実績があった。引き続き、様々な場面での活用を図るべきと考えがどうか。

【答弁】 山平危機管理監

危機管理室では、神戸市内に拠点を持つ3つの事業者と、災害時等における無人航空機の運用に関する協定を締結し、自然災害の被害状況の調査や不法投棄の実態調査など、多岐にわたる分野で活用している。消防局、建設局などは独自にドローンを所有し、パイロットの養成や操縦訓練に努めており、既に消防局では火災現場での情報収集に活用されている。また、都市局がKOBEモビリティフィールドと称し、ポートアイランド第2期の土地を活用し、ドローン事業者の実証実験の支援を行う取り組みを進めている。危機管理室においても、引き続きこれら関係部局、協定事業者との連携を深めて情報を共有し、今後ともドローンの有効活用の検討を進めていきたい。

【再質問】 植中雅子

災害時の避難者や帰宅困難者の誘導はできないか。

【答弁】 山平危機管理監

今まで行った例はないが、今後試していきたい。

### 3 避難所での非常用電源の確保について

【質問】 植中雅子

神戸市では、電気自動車による外部の給電事業と充電バッテリーの整備を進めている一方で、六甲山小学校ではLPガスの発電設備を設置している。広く普及しているLPガスは、劣化しにくく、防災としての利用に適している。電気自動車は話題性があると思うが、LPガスも使用するのはいかがでしょうか。

【答弁】 福井危機管理室長

危機管理室では、平成26年、27年に小型ガス式の発電機と投光機を、平成30年から令和2年にかけて非常用蓄電池装置を、市内の主に避難所になっている小・中学校に各1台配置している。また、令和元年、2年度には、日産、三菱、トヨタの3社と、災害時における電力供給に関する協定を締結し、電気自動車等による電力供給の体制を構築した。LPガス発電機は、ライフラインが途絶したときでも貯蓄により発電を行い、継続的な電力供給が行われるほか、劣化しにくく長期保存ができる。しかし、大規模施設の発電機は設置に多額の経費とスペースが必要というデメリットがある。地域特性を十分勘案し、これまで進めてきた発電機や蓄電池の配置や、協定に基づく電気自動車の活用等、様々な手段を組み合わせ、引き続き取り組みを進めていく。

## POOT LOOP(連節バス)に試乗

神戸市では、神姫バス株式会社を運行事業者として選定し、令和3年4月から都心～ウォーターフロント間における連節バス「ポートループ」の運行を開始しました。回遊性や都市魅力の向上を目指し、より良い運行計画とするため、専門的な見地及びまちづくりの観点から意見を求めることを目的として、「第6回都市～ウォーターフロント間における連節バス等運行に関する協議会」が開催されているところです。

令和3年3月26日午後2時半から、観光議員連盟の皆さんと共に試乗をさせていただきました。7月から本格運行で、大人210円、こども110円。バス停も7箇所設置され、みなとまち神戸のシンボルとして、活躍してくれることと願っています。



## 消防局

### 1 神戸Live119の今後の展開について

【質問】 植中雅子

119番通報した際、通話の音声だけではなく、現場の状況を動画で受信できるシステムが素晴らしいと感じた。映像で見ることにより、災害や救急現場の状況をイメージしやすく、効果的な活動であると期待している。今後どのように活用を拡大していくのかお聞きしたい。

【答弁】 鍵本消防局長

神戸Live119は神戸が初で、神戸市消防局では、令和元年11月9日から運用を開始し、令和2年度は39件の現場映像、災害映像が受信できた。令和3年度は8月末現在で、既に36件の実績となっている。具体的には、山岳救助や交通事故の実際の現場の状況を写すことで、負傷者の状況がわかり、必要な部隊や資機材の選定に非常に役立っている。救急現場での心肺蘇生法をじかに伝え、救命率の向上にもつながっている。現在は、通報された現場映像を、本部の司令課で一元的に見ているが、現場に出動している消防車や救急車に、映像を転送できる仕組みを今後進めていきたい。スマホを見れば処置に役立つというような仕組みを考えている。新しいデジタル手法を使って、救命率を上げ、災害被害のさらなる軽減につなげていきたい。

【再質問】 植中雅子

この素晴らしいシステムを神戸市民の方に知っていただくためには、どのように周知をされていくのか。

【答弁】 鍵本消防局長

一番の課題は、非常にいいシステムだが、その使い方が今の技術レベルでは若干難しいことである。講習会や訓練の場で説明、消防の出初め式でのパネルや動画、イラスト、SNS等、実際に体験ができるようなものを市民に広めていき、さらに他の都市にも広げ、これが普通の日常になるよう頑張っていきたい。

【再質問】 植中雅子

例えば、コロナで自宅療養中の方に、目で見える情報提供ができないか、健康局や他の局とも協力しながら、自宅療養者の孤独感、不安感を和らげるようなことにつなげられないか。

【答弁】 鍵本消防局長

この神戸Live119は、区役所や今コロナで仕事が大変な健康局にも情報提供し、実際に現場レベルで使っているという話も伺っている。宿泊療養施設や自宅に動画で送れるような仕組みを使っていると聞いている。

### 3 職員のワクチン接種について

【質問】 植中雅子

消防職員は、早期のワクチン接種が望まれており、かなり早い段階から接種を開始したと聞いている。一方で、ワクチンに否定的な意見もあり、一部の消防職員が接種を思いとどまるようなこともあったと聞いた。正確な情報を職員に提供し、消防職員が安心して接種することは、市民のワクチン接種にも安心が生まれると思う。どのような形で接種希望を募ることになったのかお伺いしたい。

【答弁】 丹本消防局総務部長

職員への情報提供や不安払拭の部分については、強制ではなく、同意が要ると伝え、接種に当たってのメリット、発症予防や重症化予防に効果があること、接種が進めば消防組織として円滑な運営につながっていくこと、こういったメリットとともに、副反応や安全性の理解について、厚労省のホームページのQ&Aや、海外の情報を国がまとめた審議会の資料等を添付して、アンケートの際に渡している。

【要望】 植中雅子

1月末にアンケートを取られ、多分8割ぐらいが応募されたと思うが、そのときに不安感を持たれた方は、それから何も聞かれないまま終わっている。健康局にもう1回アンケートを取ってもらえないかとお願いをして、6月7日にアンケートを実施し、約80名が応募されたということだ。接種していない人がその後どうなっているのか、消防局自体で積極的な対応をしていただきたい。



## 国産手術ロボ「hinotori」の視察

令和3年4月6日午後1時半から、川崎重工とシスメックスの子会社であるメディカロイド社の国産手術ロボ「hinotori」の視察をいたしました。すでに、令和2年12月には前立腺がんの初手術が成功し、今後が大いに期待される所です。米国のダヴィンチがすでに知られていますが、この国産ロボで研鑽を積み、さらに高度な医療技術が施されるよう願います。

神戸大学医学部付属病院国際がん・医療センターの視察や神戸未来医療構想の概要説明もしていただき、神戸の最先端医療の躍進が期待大であります。



## 福祉局

### 1 療養通所介護事業所について

#### 質問 植中雅子

療養通所介護事業所は、全国で89事業所、神戸市では中央区と西区の僅か2事業所だけである。主に難病等の重度要介護者やがん末期患者のサービス提供に当たり、看護師による観察が必要な利用者を対象とする地域密着型サービスを運営されている。入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活の世話や機能訓練を行うことで、利用者の社会的孤立感の解消や心身の機能の維持、また、利用者家族の身体的、精神的負担の軽減を図っていると聞く。在宅介護の難病、認知、脳血管疾患後遺症等の重度要介護者や、がん末期の利用者が通われている施設が、報酬改定によって運営が非常に厳しくなっている。利用者のニーズに応えることができないと、大変苦しい思いをされている。そこで3点まとめて伺います。



- ①報酬改定は、利用者にも事業者にも不利益をこうむってはならないが、今回の報酬改定には、公平性に問題がある。障がいにも様々な形態があり、その形態に応じた対応は当然のことと考える。市として国へ報酬改定は正を要望していただきたいがいかがか。
- ②週2回以上療養通所介護の利用者は、障がいの福祉サービスとの併用はできないか。
- ③医療福祉業界での看護師不足は深刻で、高いケア技術が求められる看護師確保のためには、無理をしても給与を増額しているところもあると聞く。看護師の安定的雇用のために雇用補助の御検討をお願いしたい。

#### 答弁 上田福祉局副局長

- ①国が全国の療養通所事業所にアンケートを行い、どういう経営状況になっているか調査した上で、社会保障審議会の介護給付費分科会で、今回の報酬を議論した上で報酬改定に至った。市内の2事業所に意見を聞いたところ、メリット、デメリットがあると伺っている。ただ**事業が安定していくことが非常に大事なことなので、国のほうに届けていきたい。**
- ②障がいの福祉サービスとの併用については、65歳以上で障がい者手帳をお持ちの場合、原則、介護保険サービスを受けていただくことになっている。ただし、障がい者の方の個々の状況により、介護保険サービスで定められた支給料の内容では、十分にサービスを受けることができないと認められる場合は、障がい福祉サービスに係る介護保険給付費を支給することは可能となっている。これはあくまでも障がい者の方の個々の状況を十分に把握させていただいた上で、必要に応じて個別の検討を行っていく。
- ③看護師を含めた専門職については、介護人材等を含めて喫緊の課題である。特にコロナ禍において、看護師や専門職の確保は非常に難しくなっており、現在、我々で進めている介護士の確保には、コウベdeカイゴの取り組みを行っているが、看護師の確保に関しても、支援の必要などの検討を進めていきたい。

### 2 計画相談支援に係る課題について

#### 質問 植中雅子

障がい者福祉サービスは多岐にわたるため、利用を検討する市民にとってはどんなサービスがあって、どのサービスが自分に適しているか、また利用するまでのような手続きが必要なのか分からない。そのような悩みを解消するには、計画相談支援事業はまことに有効であるが、本市のセルフプラン率が政令指定都市で極めて高い状況にある。令和2年2月の議会での質疑において、我が党からその問題について指摘をし、その後当局では障がい者福祉サービス事業所において相談支援専門員を新たに雇用、配置した場合のインセンティブ策を講じていただいたが、令和2年度の実績を見ると、十分活用されている状況とは言い難い。相談支援専門員が定着しない、計画相談支援について市民の認知が広がらないといった課題もある。令和3年3月の本会議で私も問題提起をし、**市長から改善につなげていくとの前向きなお答えをいただいた。**国も計画相談支援に対する報酬を拡充するなど、その重要性は全国的に高まっているが、本市としても障がい者福祉サービスの利用を考える市民が、自分に適したサービスを受けるために計画相談支援を活用する機会が増え、それに相談支援専門員が質の高いサービスを提供するという好循環をつくり出すために、本市のインセンティブ策の実効性をより高めるための工夫が必要だと考えるがいかがか。

#### 答弁 森下福祉局長

本市におけるセルフプラン率が高いというのは突出している。令和2年度から

補助事業を実施したが、コロナ禍において講習が思うようにいかなかった。相談支援事業所にアンケートも実施したが、補助事業の内容がよく分からない、補助事業の要件を満たすのは難しいという回答があった。周知を図るとともに、アプローチしていくような手法で進めていきたい。また、**年に2回の受付だった補助事業の申請期間を、通年受付に改善し、より使いやすい制度になるように改め、補助制度の見直し、検討、そして推進をしていきたい。**

#### 再質問 植中雅子

神戸市の計画相談支援員は、20政令都市の中でセルフ度は18位、障がい児童相談支援は最下位の20位である。

- ①周知、案内の問題ですが、区役所の窓口対応はどうなっているのか。
- ②県での研修修了者に専門員として従事していただくための環境整備が必要と考える。令和2年は修了者のうち、121名が従事者とされ、107名は非従事者である。非従事者になる理由は様々あり、まず給与面の問題、法人の中での対応、職場環境の改善も大事と考えるがいかがか。

#### 答弁 森下福祉局長

- ①令和3年4月に分かりやすいパンフレットを作り、事業者、利用者、そして区役所からの案内もできるようにした。9月から事業所情報を神戸市のホームページに掲載し、区や利用者がどこの事業所で受け入れられるかという仕組み作りも行っている。
- ②令和3年度から新任の相談支援専門員を対象とした新たな研修を実施している。各区の障がい者相談支援センターが地域の事業支援のフォローアップするという体制も明確にし、助言指導を行ったり、各区の自立支援協議会においても相談支援部会を立ち上げ、センターを中心に各事業所との連携をしていく取り組みを始めている。また報酬請求事務のフォローアップについても、請求事務の分かりやすいQ&Aを作成したり、研修を実施するというきめ細やかな対応をすることで、定着を図っていきたい。

### 3 介護人材の定着支援について

#### 質問 植中雅子

コロナによって離職された方が、介護サービス事業所等に再就職して6か月以上在籍した場合に、定着一時金、就職祝い金を支給しているが、その後も継続して勤務されているかを把握しているのか。介護人材は常に不足状態で、今後、高齢者がさらに増加し、より一層人材不足が顕著となることから、介護業界に人材が集まって定着するために、強力な施策が必要と考えるがいかがか。

#### 答弁 森下福祉局長

定着一時金はコロナに対するもので、コウベdeカイゴはその他に、処遇改善と環境改善、住宅手当やキャリアアップ支援金、介護ロボットの導入などをワンパッケージにして進めていく施策である。令和3年9月9日現在で、就職祝い金が251件、定着一時金で366件。ある施設では、定着一時金を受給した方が8名おられ、1名だけが9か月後に退職された。他の施設でも、**定着というマインドは醸成されているという声も聞くので、一定の効果はあった**と考える。働きやすさという中には、人間関係であったり、誇りと自信を持って働ける職場づくりも大切だと思う。処遇改善とともに環境改善をし、**「いける職場」**にしていく努力をしたい。

### 4 ふれあい工房について

#### 質問 植中雅子

建て替え前の2号館に、ふれあい工房という、障がい者の方が作成した商品を販売するスペースがあった。新しい2号館における福祉スペースの確保を、都市局にぜひとも福祉局から要望していただきたい。福祉局の思いとして、神戸市の福祉を全面的に出していただくようお願いしたい。



#### 答弁 小林福祉局副局長

御指摘の新2号館については、高齢者、障がい者を含むあらゆる方に配慮された建物となるという計画がされている。御提案の県庁のドリームカフェのような店舗において、障がい者の就労の機会を図るとともに、商品の販売を展開することは、有効な手段の1つであると考えている。現在、新2号館の整備については、事業者を公募実施している。都市局とも話し、並行して他の場所でも展開ができないか併せて検討していきたい。

#### 要望 植中雅子

神戸市は今、**若者に選ばれるまち**ということで、子育てに手厚い支援をしているが、**福祉のまち神戸**としても、高齢者、障がい者にもより一層の支援の手を差し伸べていただきたいと要望する。

## 各種友好団体との意見交換会



令和3年9月21日、兵庫県看護連盟・協会を始めとする12団体、そして10月5日は、神戸商工会議所他15団体との意見交換会を行いました。

28階委員会室と自由民主党控室の2部屋を使い、19名の議員総出でそれぞれのご要望をお聞きしました。しっかりと取り組み、お応えしてまいります。



## こども・若者ケアラー支援

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを、日常的に行っている児童を指します。神戸市の場合、10歳～30歳未満の人口が約28万8千人いることから、その4～5% (約12,000～14,000人程度) はこども・若者ケアラーが存在しているのではないかと推計しています。

#### 相談・支援窓口の開設状況 (令和3年11月30日現在)

社会福祉士や精神保健福祉士、公認心理師の資格を持つ職員ら6人態勢で、家族の世話などに追われる20代を含めた若年層の相談に応じます。

平日 午前9時～午後5時、電話(078-361-7600)、FAX(078-361-2573)かメール、来所して相談できます。

## 建設局

### ① 畑の辻緑道せせらぎについて

【質問】 植中雅子

北区日の峰地区にある畑の辻緑道は、民間事業者による提供公園で、山の街地区の開発に伴い、湧出した地下水を大型商業地域の噴水等の水管施設を経由して緑道内に引き込み、せせらぎとしている。2015年に施設の故障によってせせらぎが止まって以来、復旧に向けて地元から断続的に要望され、2020年に1,300万円の予算がつき、再開に向けて工事のめどが立っていた。具体的な工事の調整がつかず途中で中止になったが、改めて地域の方々の努力によって工事再開に向けた地元の合意形成の取り組みが行われ、工事ルートに関する方々の同意も既に得ている。当該せせらぎは、地域の魅力的な住環境のシンボリック存在で、子供が自然に親しむ機会となるほか、防災面からも多くの住民が早期復旧を望んでいる。建設局もこれまで地域の声を聞きながら、様々な努力をいただいているが、いま一度、実現に向けた取り組みについて伺いたい。



【答弁】 広協建設局担当局長

畑の辻緑道は北区の日の峰から桂木にかけて、全長約1.4キロの緑道で、その一部、約380メートルがせせらぎになっている。2020年に工事契約を行い、復旧工事の準備を進めてきたが、配管ルートや施工条件等、地域の合意が得られず工事を中止せざるを得なくなった。このたび、地域の方々の大変な御努力により、工事の影響を受ける地域住民や店舗の合意が得られたことから、令和3年7月に改めて地域の総意として、復旧工事の御要望をいただいたところである。今後、工事ルートにある地下埋設物や街路樹の根の状況など、施工上の課題を確認する試掘調査をまず実施した後に、早期に工事着手できるように取り組んでいきたい。



### ② 神出山田自転車道の活用について

【質問】 植中雅子

神出山田自転車道は、平成30年から2か年かけて大規模なリニューアル工事が行われており、令和元年度には記念イベントも開催されている。神出山田自転車道の利用促進や周辺地域の活性化を目的として、令和2年度には里山地域初となるBE KOBEモニュメントを設置し、つくはら大橋の休憩所のリニューアルもされている。併せて令和2年9月よりシェアサイクルの試行を開始するなどの取り組みが続けられているが、どれほどの方が利用しているか検証はされているのか、これまでの取り組みについての評価を伺いたい。

【答弁】 三島建設局長

シェアサイクルの試行を、令和2年9月から12月までの期間、令和3年3月から5月までの期間、この両期間の土・日・祝日に実施した。利用状況は、60日間で1,238名。令和2年秋に、自転車20台で実施し、好評だったことから、令和3年春には30台に増やして実施した。晴天時にはおおむね用意した自転車全数が貸し出されるという状況である。複数回利用の方も2割程度あった。利用料の収入が運営に必要な経費を下回り、採算面の課題があるが、自転車道をより多くの方々に知っていただき、併せてウィズコロナ時代におけるレクリエーションを楽しんでいただくという目的は、おおむね達成できた。

【再質問】 植中雅子

シェアサイクルの拠点拡充は、今までのつくはらサイクリングターミナルに加え、谷上駅、栄駅、兵庫楽農生活センターの4か所になる。自転車を乗り捨てて帰るとき、最寄りの駅がないと帰れない。兵庫楽農生活センターから最寄りの駅というのは遠くないか。

【答弁】 岩崎建設局副局長

兵庫楽農生活センターは、車を利用される方の拠点として追加した。

【再質問】 植中雅子

利用者を増やすためのさらなる工夫はあるか。

【答弁】 岩崎建設局副局長

神戸電鉄の主要駅や地下鉄の駅へのポスターの提示、区役所でのチラシの設置、民間の情報サイトへのPR記事の掲載なども実施し、11月にはサイクルトレインの運行や謎解きラリーの実施を神戸電鉄と調整しながら計画している。



### ③ 自然休養村管理センターの跡地利用について

【質問】 植中雅子

神出山田自転車道の利用者を増やしなが、周辺地域の活性化につなげることが大事だ。自然休養村の跡地は、テントやデッキで休憩したり、お茶を飲んだり、サイクリングに来られた方にそこで一休みしていただく、という事業はいかがか。下水も水道も通っているので、トイレの設置も十分できる。建設局と経済観光局が協力して進めていただきたい。山田町の活性化を考えたとき、この自転車道が一番の糸口にならないか。

【答弁】 岩崎建設局副局長

利用者を増やしなが、活性化につなげるのは重要だと認識している。所管する経済観光局からは、令和3年度中に周辺景観に配慮し、建物を撤去して更地にする予定と聞いている。跡地利用の具体的な用途は確定しないと聞いているが、神出山田自転車道については、北区、西区の里山地域には、六條八幡宮や吞吐ダム、また雄岡山、雌岡山をはじめとする豊かな自然、文化遺産があるので、これらを生かした地域の活性化を実現するために、経済観光局との連携はもちろん、民間事業者とも十分連携しながら、取り組んでいきたい。

### ④ 土砂災害対策事業などの安全・安心の取り組みについて

【質問】 植中雅子

近年頻発している大雨・台風による被害を防ぐためには、ハード・ソフト両面の取り組みが必要である。治山、また砂防事業については、国・県が主たる施行者として事業を実施しているが、市でも国・県との連携した取り組みや、市独自の事業実施が必要である。市民の安全・安心を守るために、市ではどのような取り組みを行っているのか。またその実績はどうなっているのか。



【答弁】 三島建設局長

本市では、被災の経験としては、昭和13年、36年、42年の大水害をはじめ、平成7年の阪神・淡路大震災等で、度重なる土砂災害を経験している。その教訓を生かしたまちづくりを、国・県・市の連携のもと進めており、現在では過去の大災害を引き起こしたような降雨に対しても、人的被害が生じることがなくなってきた。国・県については、砂防堰堤などを造る砂防事業、六甲山系のグリーンベルト事業、市街地における急傾斜地の崩壊対策事業、県が保安林などを対象に治山事業などを進めている。神戸市においては、これらの事業が円滑に進められるよう、積極的に支援を行っている。県の急傾斜地崩壊対策事業においても、本市が地権者からの相談に乗ったり、地元の説明会に参加するなど、要望提出に向けた合意形成の支援を行い、このような取り組みを継続しているところが24か所ある。また、市独自の取り組みとしては、道路のり面や市有地の斜面について、防災対策を推進している。

私有地については、県単独補助治山事業を活用して、小規模な山腹崩壊の復旧工事等を神戸市が行っている。森林が持つ防災機能を向上させるということでは、災害に強い森林となるよう、県民緑税や森林環境譲与税を用いて、六甲山系や帝釈・丹生山系を中心に、健全な森林の育成にも取り組んでいる。

私有地の小規模な危険崖対策についても、応急対策工事の費用を一部助成する緊急崖応急対策助成事業を実施しており、令和2年度には11件実施し、令和3年度は8月末で6件の申請がある。引き続きハード・ソフトの両面から土砂災害対策の充実に取り組んでいきたい。

【要望】 植中雅子

北区の北神地域は、雨量通行規制や土砂崩れによる通行止めで、陸の孤島となっている。北神地区から市街下へ移動できる第3のルートを新たに整備するよう、抜本的対策を検討していただきたい。経費がかかるとずっと断られているが、ぜひとも前向きにお願いしたい。

## 今期は、阪神水道企業団議会委員を務め、安心安全で美味しい水道水の安定確保のために活動中です。

阪神水道企業団議会の議員定数は15人。神戸市から8人、尼崎市から3人、西宮市から2人、芦屋市と宝塚市から1人となっており、年間予算規模は約200億円です。現在、神戸市の水源確保量(86.7万立法メートル/日)の約4分の3を、阪神水道企業団から購入しています。

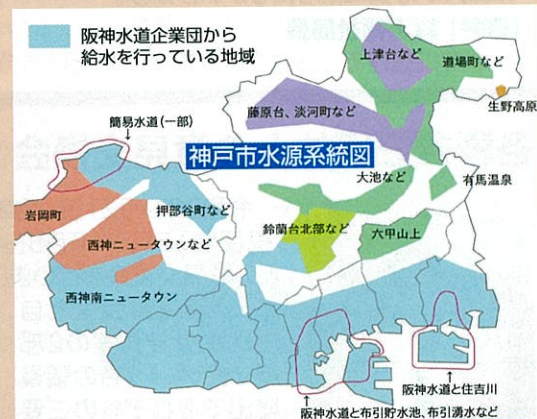
このほか、「兵庫県水道用水供給事業」からも水を購入することで、安定した給水能力を確保しています。

令和3年11月4日(木)午後2時から、尼崎浄水場の視察をいたしました。管理室、水質試験室、着水井、沈殿地、オゾン処理設備、活性炭処理設備を順に回りました。最後に、多くの過程を通過してきたできたの水を美味しくいただきました。

引き続き1年間、神戸市の水道事業のためにがんばってまいります。



しらくに議会運営委員と共に





## ごあいさつ

2022年(令和4年)新しい年を迎えました。  
日頃から市政へのご理解ご協力に感謝申し上げます。

去年は爆発的な勢いを見せた新型コロナウイルス感染の第5波が昨年10月から急速に感染者が減少してきました。これは、ワクチン接種の効果と皆様の感染予防の努力の結果だと思われま。本年は、このまま収束に向かって推移してくれることを期待しながら、一方で、昨年末から新しい変異株オミクロンの拡大が懸念される事態となりました。この新しい変異株は、感染力が強いと言われてい。まだまだ気を許す状況ではなく、くれぐれもご自愛いただき、お気をつけてお過ごしくださるようお願い申し上げます。

去年は、議会でもコロナ対策を中心に市民生活に直結する諸課題について議論がなされました。私も会派を代表して市長をはじめ当局に質疑いたしました。また、多くの皆様からご要望、ご意見を頂き、そうした諸課題をしっかり受け止め、それぞれにお応えいたしてまいりました。今後もこうした努力を続けてまいります。

今回は、前回の市政報告以降の活動について、ご報告します。

- 令和3年第2回定例市会(令和3年8月31日～10月8日)の本会議で会派を代表して質疑(10月8日)いたしました。また、決算特別委員会第1分科会では、行財政局・市長室(9月8日)及び企画調整局(9月9日)の審査で質疑いたしました。紙面の都合上、一般質問では、Q&A方式で、局別審査では、質問項目について、いずれもその要旨をご報告いたします。また、詳しくは、「神戸市会インターネット録画中継」を御覧いただければ幸いです。



## 兵庫津ミュージアム・ 初代県庁館(中央卸売市場西側)が 開館致しました。 (令和3年11月3日)

1868年(慶応4年)、兵庫県が誕生するとともに、江戸時代から大坂町奉行所兵庫勤番所として与力や同心が仕事をしていたところに初代県庁館がおかれま。初代県知事は、伊藤博文)兵庫津ミュージアムは、当時の勤番所・県庁を忠実に復元しています。



兵庫県立兵庫津ミュージアム正面入口

## 明治時代の土木遺産湊川隧道の通り抜け効果 (令和3年11月23日)

経済港湾委員会で質疑  
(12月1日)

平野副委員長:

11月23日に実施された兵庫県の湊川隧道の初めての逆行通り抜けに参加された1700名の方が近隣のマルシン市場・東山商店街・ハートフルにお越しになられた。区外、市外の方も多く来られ、大変大きな経済効果があることと、市場商店街のPRにもなることを伝え、是非兵庫県への隧道逆行の引き続きの実施を要望。と合わせて神戸市も県との連携をすべきと質疑しました。



小泉商業流通担当部長

こういうイベントを継続して実施してもらえよう、我々も県の経営商業課の方を通じて働きかけていきたい。その他の地域でもイベントを連携し幅広くたくさんのお客さんに来ていただいて、商店街市場が活性化するように我々も地域と相談し、また支援も行ってきたい。



# 令和3年第2回定例市会 9月議会(8月31日～10月8日)

10月8日の最終日の本会議で自民党会派を代表して一般質問に立ちました。その要旨です。

## 1.子育てについて

**平野達司** 産後ケアについて 神戸市の産後ケア事業を妊娠中期、また後期に産後サービスを含めて働きかけを強化すべきではないか。また、産前産後ケアサービスの電子申請を受け付け、周産期を通した一体的な支援に取り組むべきではないか。市長の見解を伺いたい。

**久元市長** 妊娠中期後期にタイムリーな情報を行うことが重要。12月より実施予定の訪問型の産後ケアについて、産婦の負担軽減のために電子申請で受け付けできるよう現在準備をしている。今後も妊娠中後期の支援の充実も含め、妊娠期から切れ目のない支援に取り組んでいきたいと考えている。

**平野達司** 子育て支援について 子育て支援施策について、区ごとにどのような子育て支援策が今実施されているのか。どんな支援団体が存在して、どの取組が行われているのか。区や組織の違いにかかわらず、十分に把握することが重要ではないか。これらの情報を整理して一元化または見える化することにより、新たな取組の創出につながるのではないか。

**久元市長** 子育て支援につきましては、情報を一元的に把握できるようにするということが、大変重要。できるだけ早くママフレサイト全体のリニューアルを含め、情報発信と、それから必要な情報が必要な子育て世帯にしっかりと届くように、スピード感をもって進めていきたいと考えている。

**平野達司** 子育て広報について 広報についてはスマートシティポータルサイトを活用して、子育て支援の情報を分かりやすく一覧にした上で、対象年齢と、それからエリア、それぞれそれをプッシュ型広報に努めるべきと考えるがどうか。

**久元市長** 子育て世帯に対して、ターゲットを絞って情報を発信する、あるいは質問や意見を吸い上げるという仕組みは、まさにスマートシティポータルサイトであり、来年度以降、民間企業や地域団体のイベント情報も含めて、幅広く掲載をし、子供の年齢や居住エリアなどのログイン情報に基づいて、その位置情報とも連動して表示ができるようにしたり、あるいはそのイベントの時期が近づけば、ポップアップでイベント情報を表示するというプッシュ型の子育て情報を発信できるように、現在、機能の導入の準備を進めている。

今年度は試行版として、興味関心がある事柄や居住区などを選択登録していただく。例えば、子育て関連イベントなど、関連のある情報や居住区などに関連する情報がポータル画面に優先して表示できるような機能を設ける予定にしている。

**平野達司** 休日での支援事業について 神戸市は積極的に待機児童解消に向けて、保育園の新設設置など取り組むことにより、共働きの世帯も増えてきており、土・日の子育て支援事業が少ないという声が届いている。共働きが増えれば、子育て支援の実施方法も変化させていかなければならない。特に休日に実施をするような形で促進していく必要があるのではないか。

**小原副市長** 今後、共働き世帯の増加の社会背景を踏まえ、参加される市民のニーズを把握し、より参加いただきやすい日程を引き続き検討してまいりたい。

**平野達司** 子育て支援のオンラインの活用について 子育てイベントについて必要な機材を神戸市が貸出して、プロによるノウハウの提供などの仕組みをつくり、またKOBE学生地域貢献スクラムの大学生に配信のお手伝いをしていただき、人数が制限されている子育て支援をオンライン化することで参加人数も増やすことができ、また一旦参加したいものも、オンラインで見ることにより参加意欲が増すと考える、このような手法を取り入れるべきではないか。

**小原副市長** 各主催者がオンライン化する際に、さらに必要なものがあれば、御相談に乗っていききたいと考えている。KOBE学生地域貢献スクラムによる大学生の支援だが、現在、子育てイベントのオンライン開催の支援という実績はないが、うまくこういった制度も御活用いただきたいと考えている。



会派を代表して一般質問中(10月8日)



子育てサークルにて

神戸市会議員平野達司(たつじ)事務所  
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F  
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301  
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP



平野たつじ Facebook  
神戸市の情報をお伝えいたします。

神戸市会の  
本議会、委員会を  
インターネットにて  
閲覧できます。



神戸市会



**平野達司** 転入者への情報提供について

市外から子育て家族が転入したときに一番最初にもらう市民課の神戸のくらしのガイドを神戸に関する情報が乏しい市外の転入者の方々に対して、最も丁寧に情報発信をしていくという姿勢が重要ではないか。



子育てサークル児童館にて



母子健康手帳(サンプル)

**今西副市長** 市外からの転入者がどのような情報を求めているのか、また、市として積極的に情報提供すべきことは何か、それぞれの属性に応じた効果的な媒体は何かといったことが十分整理されていなかったのではないかと、できるだけ早く改善をしなければならないと思っている。

**平野達司** 小児科の一覧について

改善策の中の1つとして、各区役所のこども家庭支援課で小児科の一覧が配られていない。健康局が持っている小児科に対応している病院一覧で、診療項目として小児科と書いてあるものを是非、公表して、連携すべきではないか。

改善策の中の1つとして、各区役所のこども家庭支援課で小児科の一覧が配られていない。健康局が持っている小児科に対応している病院一覧で、診療項目として小児科と書いてあるものを是非、公表して、連携すべきではないか。

**久元市長** 非常に具体的な御指摘をいただいたので、しっかりと御指摘を踏まえて、できるだけ早く、先ほど私と小原副市長

とお答えをした点につきましては、スピード感をもって取り組んでいきたい。

## 2.大型ごみの再利用(オークションでの売却、海外販売)について

**平野達司** 神戸市における

大型ごみは、大幅な増加傾向にあり、一部焼却も実施されている。二酸化炭素の排出低減のためにも大型ごみの再利用を検討しなければならない時期に来ていると考えている。



海外向け再利用される物品



各種オークション売却前物品

市民が回収前に大型ごみを写真撮影の上、環境局に送付し、神戸市が簡易入札などを行うような仕組みは考えられないか。

**今西副市長** 大型ごみは、平成29年度には約32万個が、令和2年度には約50万個と3年で18万個増加し、約1.6倍という状況

で、増加の一途をたどっている。具体例として、椅子、テーブル、衣装ケース、布団、マットレス、自転車、棚、たんすなどで、これだけで約半数を占めている。

大型ごみは、平成29年度には約32万個が、令和2年度には約50万個と3年で18万個増加し、約1.6倍という状況で、増加の一途をたどっている。具体例として、椅子、テーブル、衣装ケース、布団、マットレス、自転車、棚、たんすなどで、これだけで約半数を占めている。

本市と、民間事業者と連携して片づけ支援を行うサービスの仕組みを構築した。このサービスは、片づけごみのうち、リユースできるものについてはリユースに回し、再利用できないものは廃棄物として適切に処分するとともに、料金体系など安心して利用できるサービスを提供しようとするものである。これまで試行的に実施をしてきているたんす、テーブル、食器棚などの家具類や、鍋、皿などの買取り、引取りを行っていただいた後、有償での販売を行っている。まだ試行ということなので、令和3年度の上半期では33件の利用にとどまっている状況である。最新のICT技術を活用した民間のノウハウについても、導入可能なものについては積極的に取り入れていきたい。

**平野達司** 浜松市がLINEで画像を送信して、AIがごみの種別を判断する回収方法の実証実験をしている。神戸市内には全国的に大規模な不用品買取りのオークション会場が2つあり、南は鹿児島から、東は関東から多くの方々が参加。オークション会場は国内流通だけではなく、実は神戸に港があることから、海外での不用品販売が実現できている。大型ごみの写真を撮って、簡易入札ということができれば、二酸化炭素の削減、大型ごみの再利用、大型ごみの軽減にもつなげられると思うが、ぜひ積極的に推進していただきたい。

最後に、海外では、食器がかなり価値があり、再利用可能と考えているので、市民に負担をかけずに、一部の地域でモデル的に食器は資源ごみとして回収できないか。

**今西副市長** 今年度、民間事業者と連携して、プラスチックなどの資源物を地域における拠点で回収するモデル事業の実施を予定している。その中で、食器についても、回収対象として集め、リユース市を開催することを検討している。そういったモデル事業を実施する中で、御指摘のあった回収した食器の海外における再利用の可能性とか、民間の不用品回収業者との連携した回収といったものも研究させていただきたい。

今年度、民間事業者と連携して、プラスチックなどの資源物を地域における拠点で回収するモデル事業の実施を予定している。その中で、食器についても、回収対象として集め、リユース市を開催することを検討している。そういったモデル事業を実施する中で、御指摘のあった回収した食器の海外における再利用の可能性とか、民間の不用品回収業者との連携した回収といったものも研究させていただきたい。

# 兵庫運河のアマモに注目が集まっています。環境への取り組みに高い評価

近年、アマモ場は、減少しており、再度育成させるのにそれぞれの地域で苦勞されています。そうしたことから、2008年に第一回、全国アマモサミットが開催され、以後毎年開催されています。このように貴重なアマモが兵庫運河の人口護岸に育ってまいりました。

兵庫運河の和田岬線旋回橋の横に神戸市が整備したはまっ子キラキラビーチがあります。ここでは、浜山小学校の児童生徒が兵庫運河の自然を残すプロジェクトの一環で環境学習としてあさりの育成など勉強していますが、この砂浜が、徐々に運河側に流れ込み、そして運河を通る船により、反対側(北側)の人口護岸に数センチ程度の砂が重なり、そこにアマモが育ってきたのです。

アマモは、海藻ではなく、イネ科の海草で海の砂地に生えます。水を浄化する力が強く、二酸化炭素を吸い取り酸素を排出いたします。アマモは「海のゆりかご」と呼ばれ、海の生き物たちの住みかや、産卵場所になり、多くの魚や生き物が集まってきます。

また、浜山小学校北側には、国土交通省が実証実験として、阪神高速湾岸線の橋脚設置予定箇所になる防波堤の瓦礫の処理で残った海水に馴染んだ土砂を利用して、干潟を作りました。この干潟には、貝類が生息し、それに魚が集まり、今や、エイやクロダイまで来ております。そして、小魚を狙って海鳥もこの干潟にきております。これが今の兵庫運河です。海洋環境教育の活動に注目してください。



子どもたちのアマモの種植え



海洋環境について学習する子供たち



兵庫運河の自然を残すプロジェクトの案内版

## 令和3年第2回定例市会(8月3日~10月8日)が開かれました。 決算特別委員会が設置され、私は、第1分科会で次の2局の審査で発言いたしました。

行財政局・市長室審査(9月8日)への  
質疑に立ちました。  
(質問項目は、5項目になります)

### 1. 財政健全化と投資のバランスについて

コロナの収束も見通せない状況の中、必要な事業は実施できるのか。

投資を進めると健全化指標は増加し、投資を行わなければ、まちの魅力を高めることができないので安定した所得や財産の維持、拡大につながらない。健全化指標を小さくさせ続けることは必ずしもいいことではないと考えるのがいいか。

### 2. 区役所業務の民間委託について

今年4月からの区役所電話交換業務の委託に関して、不満の声を多く聞いている。問題に対してどのように認識して、どのような対策と改善を図っていくのか。

兵庫区役所、北神区役所の市民課、保険年金医療課の業務委託について今年の10月からスタートすると聞いている。

この窓口業務は市民の最前線なので、電話交換業務のような問題が生じないように、十分な準備を行い、委託によって市民満足度が上がるように進めていただきたいかがか。

### 3. デジタル人材の活用について

AIを活用できる人材の獲得が各自治体も激しくなっている中、神戸市はどのような人材獲得の取組をしているのか。

### 4. 広報について

市長会見の資料で直感的に分かりやすい視覚的なイメージを入れることにより文字だけではなく見てる方の頭に入ってくるのでそうした対応が必要ではないか。

### 5. 不当要求行為について

不当要求行為から職員を守る取組について法務監察専門官の昨年の相談件数が114件、この行為が重なっていけば、組織や職員の方がそれぞれ萎縮して、柔軟な行政運営ができなくなってしまうことを危惧している。この不当要求の判断基準については慎重に運用して、市民の要求に対し公平性をもって対応すべきではないか。



企画調整局審査(9月9日)への  
質疑に立ちました。  
(質問項目は、3項目になります。)

### 1. デジタル人材の育成について

神戸のスマート自治体の中核を担うデジタル人材の内部育成について、どのような取り組みを実施しているのか。

今年度AI人材に繋がるデジタルエンジニア人材の取り組みを開始したけども、どのように貢献を目指しているのか。

### 2. スマートシティの推進について

スマートシティの市民参画について、市民意見の反映を含めた市民参画推進の状況はどうか、スマートシティポータルにおけるサービス、また、地元企業を含めた民間企業の協力体制を含め、スマートシティの運営体制についてはどうか。

さらに、スマートシティのその自立自走については将来的には官民デジタルインフラとして、当然ながら公共も一定関与しつつ、自ら資金を獲得して自立した運営を果たしていかなければならない。自立自走に向けた見通した方向性についてどうか。など神戸市庁内のデータ連携基盤のスマートシティの活用について、かなり専門的な内容について突っ込んだ議論をいたしました。

### 3. 兵庫運河の活性化と兵庫津の歴史遺産の整備PRについて

兵庫運河を舞台に国交省が干潟実験実証実験に取り組んでいる。また、人工護岸にアマモが育成し水質の環境に向けても大変期待されている。アサリの育成実験だとか環境問題への取り組み、また真珠貝プロジェクトなども含めて、地域挙げて取り組んでいるので広く市民に伝えていただきたい。

以上3項目のうち、デジタル人材とスマートシティについてはかなり専門的な内容で突っ込んだ議論になりました。また兵庫運河の各種実証実験については、SDGs(持続可能な開発目標)の趣旨にそった将来のある取り組みです。

# 山下てんせい

自由民主党神戸市議員団 市政報告 vol.16

市政に関するご意見はスマホカメラでQRコードを読み取っていただくとう簡単ですメールフォームに直接つながります→



山下てんせい

検索

令和三年度市政報告にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

令和三年度は、自由民主党神戸市議員団の政調会長を拝命しております。これまでも各種団体との意見交換や勉強会の企画、会派所属議員から市長への提言を取りまとめるといった役務をこなしてまいりました。

また常任委員会においては11年目にして初めて「教育こども委員会」に所属し、学童保育の在り方やこどもの居場所づくり、学齢期を取り巻く諸問題への提言等を行っております。

2021年を締めくくるにあたり、本年度の活動の一端をまとめさせていただきましたのでご一読くださいませ。

令和三年 歳晩 神戸市議員 山下てんせい 拝

## 神戸市健康科学研究所の機能強化について

6月25日 一般質問

Q) 神戸市健康科学研究所は、新型コロナウイルスのゲノム解析のスピードが早く、そのデータは他都市からも頼りにされていると感じております。日本全体の感染症拡大防止に貢献するという観点から、市独自に感染症や疾病に関する解析能力を伸ばし研究所の機能強化に取り組むべきと考えますがいかがか。

に寄与してまいりたい。また、研究所の機器の充実を図るとともに、研究の進展や海外での論文発表を見据えた支援をしっかりと行っていきたい。



▲議場にて一般質問する山下てんせい議員

(詳しくは神戸市ホームページ「新型コロナウイルスに関するお知らせ」→市内での発生状況などをご参照ください)



市 HP

## 久元市長

神戸市は他都市に先がけて、令和2年11月から新型コロナウイルスのゲノム解析を行い、全国でも有数の検査機関として検査日数の短縮化などに貢献している。今後も国や地方衛生研究所との連携のもと、変異株の予兆をとらえることができる強固な研究体制を構築し、市民の健康

なお当日の一般質問では、他に以下のような項目について質問いたしました。

- ・DX 施策に関わる装置や機械の多部局連携について
- ・経済圏としての中四国地域との連携について
- ・都市公園の利用促進について
- ・こうべ環境未来館の在り方について

(内容は神戸市会ホームページ→会議録検索システム

→発言者/山下てんせい 6月25日106番~をご参照ください)



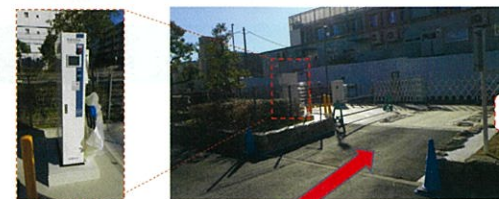
神戸市会会議録

## 西神中央駅の電気自動車急速充電器についての続報

プレんティ再開発のなか、適用期間を超えた電気自動車の急速充電器が撤去されましたので、その再設置の必要性を、令和2年9月の決算質疑で要望しました。(市政報告 vol14 参照)

その後、環境局の後押しとOM こうべの協力もあり、新西区役所の西神4号線沿いに再設置されました。12月10日より供用開始されております。

電気自動車利用者の皆様にはご不便をおかけいたしました。ぜひご活用くださいませ。



急速充電器

公道より

待機スペース (1台)

急速充電器 (新規設置の場所)

## 気軽に取り組める防災活動「マイトライアル 1.17」の実施について

これは宣伝になってしまいますが、時節柄ご紹介したい取り組みがあります。

私は日ごろから地域防災コミュニティの活動にも深く参画しておりますし、防犯防災に関する会議にも参加しております。ぜひ皆様もこちらをご覧ください。

令和4年1月17日、阪神・淡路大震災の発生から27年目を迎えます。震災を経験していない世代が増える中、震災の経験と教訓を継承するとともに、南海トラフ巨大地震や近年の激甚化する気象災害等、様々な事態に備える必要があります。神戸市では、市民誰もが1月17日に気軽に取り組んでいただける防災活動のメニューを紹介した専用WEBページ「マイトライアル 1.17」を市HP内に開設し、市民の皆さんに取り組んでいただき、SNSで発信していただくよう呼びかけます。



マイトライアル 1.17

Q) 学童保育の施設整備について、目下受け入れ枠をはるかに超え、過密に悩む児童館が多いと聞いています。そこに対しての手当はどのようにしていますか。

山村局長

現在児童一人当たり 1.98 平米というガイドラインは規定しているが、そこに固執することなく、過密な施設については基本的には学校内で学童保育コーナーを整備していくという方針である。現に小学校区に 2 か所という形の運用もある。

Q) 学童利用者の中にはフルタイムでお勤めの方もおり、学校園は安全な空間ではあるが、時間的な制約は否めない。児童館と学校園、これをいかに安全に送迎するか。

山村局長

今年度から、距離が遠い場合や交通量が多いところについて、送迎支援を一部実施している。できるだけ弾力的な、丁寧な運用を行っていきたい。  
意見) 青パトや、児童館の OB や OG といった、地域のマンパワーをもっと活用していただきたい。



▲委員会で発言する山下てんせい議員

こどもの居場所づくり事業について

神戸市子ども家庭局子ども青少年課では令和 3 年度の事業として「こどもの居場所づくり事業の全市展開」のための様々な取り組みに対して、補助金の交付等の支援を行っており、わが会派からも活用促進を申し入れ、月一回以上実施枠が新設されました。

西区においては現在 21 団体が、地域福祉センターや児童館などで、学習支援や食事提供などを実施しております。ただその在り方は様々で、例えば学園東町の「英語でなかよし」のようにオンライン上で実施している団体もあります。

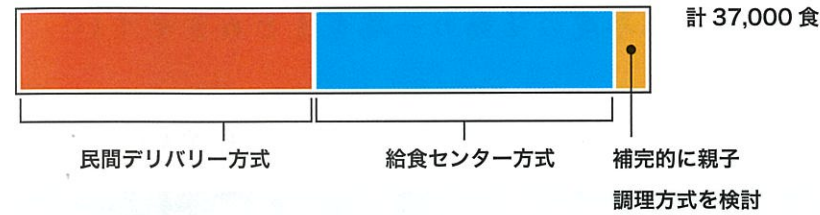
そこで私も、春日台青少協の一員として地域の検討会に参加しており、ニュータウン圏域に適した居場所の在り方について議論しており、目下小中学生や保護者の皆様へのアンケートを企画しております。ぜひ皆様のご意見やアイデアをいただきたいと思っております。

小学校区	桜が丘	月が丘	北山	木津	小寺	伊吹西	玉津第一	高津橋	枝吉	伊吹の丘	小寺
名称	あさひキッチン	月が丘わんぱくクラブ	北山わくクラブ	さとのわ	こどもの居場所	おおきなおなべ	みんな仲良し玉津っ子	スタサポ玉津	枝吉ふれあい広場	夏休み子ども広場	楽しく学ぶ会
小学校区	岩岡 (3月~)	樫野台 (6月~)	東町 (6月~)	狩場台 (7月~)	木津 (7月~)	美賀多台 (7月~)	神出 (7月~)	高和 (8月~)	平野 (8月~)	伊吹東 (8月~)	有瀬 (11月~)
名称	ニコニコHAPPY食堂	かしのみ広場	英語でなかよし	こどもの居場所	コスモス広場	わいわい学び舎	エールかんで	高和みんなの居場所	平野ふれあい食堂	伊吹の森こどもレストラン	有瀬こども食堂

令和 3 年に神戸市学校給食委員会より報告されました「中学校給食の全員喫食制への移行に向けて」によると、中学校給食は「全員喫食」「食缶方式による温かい給食」という方向へと向かっております。また保護者へのアンケートによると早期の実現を期待されていることが伺えますし、委員会の議論でも同様の視点からの意見が多くございました。少しでも早く実現できるよう後押ししてまいります。

一方、最適な実施方法としては、コストや導入のしやすさの面でメリットのある民間デリバリー方式と給食センター方式の 2 つを柱とし、補完的に親子調理方式を導入することも検討しております。なお私からは、食材にかかる費用以外の行政が負担すべき費用はコスト感覚を大切に、保護者への負担が増えないように要望をさせていただきました。

【組み合わせによる提供イメージ】



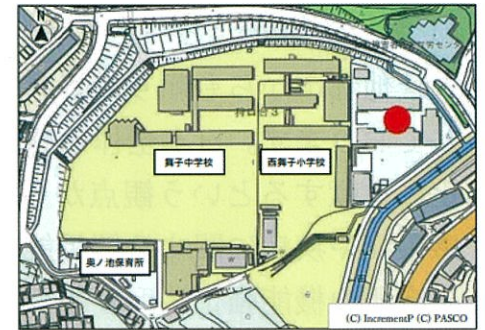
12月1日の委員会において、給食センターの整備計画が発表されました。

- (1) 北部学校給食センターは最大 11,000 食 / 1 日の調理能力で、主に兵庫・北・長田区へ
- (2) 西部学校給食センターは最大 9,000 食 / 1 日の調理能力で、主に須磨・垂水区へ配送される予定です。スケジュール通りならば令和 6 年度中には供用開始されるとのことです。

(1) 所在地：北区藤原台南町 5 丁目 19 番



(2) 所在地：垂水区狩口台 3 丁目 1-3



【現在活動中の団体】

※こどもの居場所づくり事業の取り組みについて  
西区社協が確認した団体を掲載しています (R3.12.1 現在)

● 新型コロナワクチンを騙る詐欺に注意

新型コロナワクチンに便乗した **詐欺**



ワクチンを優先的に受けられます

接種の予約金を振り込んでください

役所や保健所の職員を名乗る人物

これらは詐欺です。

不審な電話、メールに注意しましょう。

ワクチン接種は無料

費用は全額公費。  
お金の話が出たら詐欺を疑いましょう。

個人情報やメールや電話で求めることはない

市区町村からは接種券・接種のお知らせが届きます。

困ったら知人や家族、消費者センター、警察などに相談を

新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン **0120-797-188**

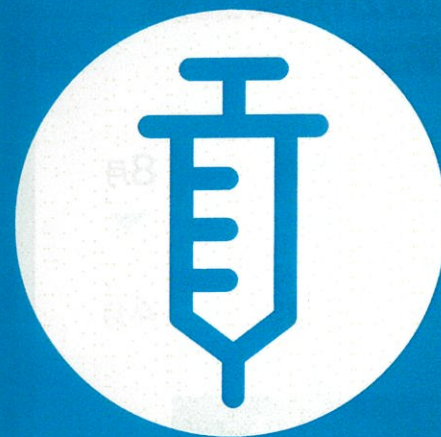
受付時間: 10時00分~16時00分(土日・祝日を含む)

警察相談専用電話 **#9110**

受付時間: 平日 8時30分~17時15分



感染対策へのご協力ありがとうございます



# 新型コロナ ワクチン 3回目接種

● 新型コロナワクチン3回目接種券の発送が始まります

18歳以上の  
2回目接種を受けた方

何もしなくても、2回目接種8か月後を目安に、住民票住所地宛まで接種券が発送されます。

- ・2回目接種後、神戸市に転入された方
- ・市外で2回目接種を受けた神戸市民
- ・住民票住所地以外の場所にお住いの方など

接種券発行申請が必要です

●WEB申請 (神戸市スマート申請システム)

[https://www.city.kobe.lg.jp/a00685/vaccine\\_ticket.html](https://www.city.kobe.lg.jp/a00685/vaccine_ticket.html)



●新型コロナワクチン接種コールセンター

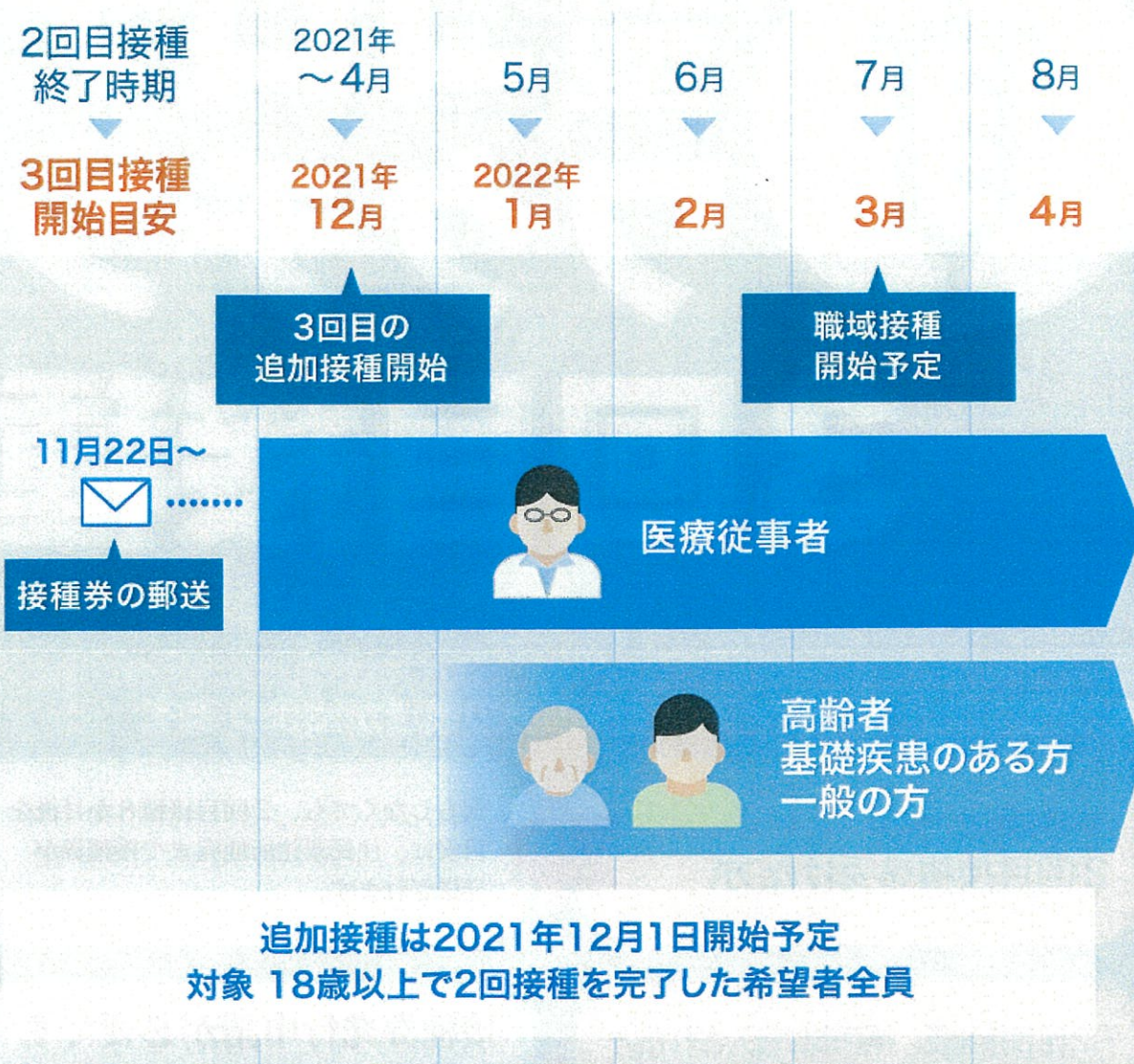
**078-277-3320**

○申請の際の準備書類

- (1) 2回目の接種終了が証明できるもの (接種済証 or 接種記録書) (※なくても申請可)
- (2) 送付先住所の確認書類 (運転免許証、マイナンバーカード (表面) など)

# 新型コロナワクチン3回目の接種スケジュール

**3回目の接種は2回目終了からおおむね8か月以上後  
(感染状況により6か月以上の場合も)**



3回目の接種は、2回目の接種終了から原則おおむね8か月以上経過した方から行ないます。まずは2021年4月までに2回接種を終えた医療従事者を対象に、12月1日より3回目の接種を開始。その後、18歳以上で2回接種を完了した希望者全員に対し、順次接種券を発送します。

神戸市では令和3年5月上旬に2回目接種を終えた約5千人の方に対し、令和4年1月11日に最初の接種券を発送し、以後2回目接種後8か月を経過した人を対象に、毎週1回のペースで接種券を発送します。

令和4年2月以降に、かかりつけの診療所・病院がない方等を対象に、市が接種場所と日時を指定する新たな予約受付方式（「おまかせ予約」）を導入する予定です（詳細後日公表）。

## ● なんで3回目の接種をするの？

ワクチン効果のうち、感染と発症の予防効果は時間とともに低下することが、接種が進んでいる国から報告されるようになりました。特に60歳以上の効果の低下が顕著で、感染した場合の重症化リスクも徐々に上がることが想定されています。ウイルスを浴びるリスクの高い医療従事者や重症化リスクの高い基礎疾患のある方などはもちろん、一般の方に対しても、感染再拡大に備えてワクチンの効果を高めるために、各国で3回目の接種が実施または検討されはじめています。

## ● 3回目接種の効果や副反応はどのくらい？

ワクチン2回接種後、時間の経過とともに起こる感染予防効果の低下に備え、3回目接種の効果などが各社より発表されています。ファイザー社は、3回目接種による発症予防の有効性が95.6%で、中和抗体価は5倍以上に増加したと発表しました。モデルナ社は、中和抗体価が2回の半量の接種で42倍に増えたと発表しました。副反応に関して、ファイザー社は2回目と比べ同程度もしくは低い頻度、モデルナ社も許容できる範囲で半数以上は軽度か中等度であったと伝えています。

## 3回目接種の効果や副反応について

	ファイザー (2回と同量)	モデルナ (2回の半量)
有効性	95.6%	発表前
中和抗体価	55歳以下 5倍以上 65-85歳 11倍以上	42倍
副反応	2回目と比べ 同程度もしくは 低い 接種部痛み 疲労 頭痛 筋肉痛など	過半数は軽度 または中程度 疼痛90% 疲労70% 頭痛55% 関節痛50% 筋肉痛45%

発行所 自由民主党神戸市会議員団  
神戸市中央区加納町6丁目5-1 電話 331-8181 内線 7060



令和3年10月一般質問にて

## 神戸市会議員 平野たつじの実績

### 1 コロナ禍対応実績

- 神戸市立医療センター中央市民病院のゲート前体温検査の早期導入  
(令和2年4月に提案、令和2年7月導入)
- 新型コロナウイルスの感染者になった場合の対応フローチャートの作成とHP掲載の実現  
(令和2年決算特別委員会 健康局(10月2日)の質疑の上、実現)
- 市内における第1波後に海外ビジネス渡航のためのPCR検査と証明書発行の実現  
(令和2年6月10日に副市長への依頼で令和2年8月に設置)
- 医療コンテナ導入の提言と実現  
(神戸市立医療センター中央市民病院コロナ重症患者病棟IC室)  
(令和3年2月に設置)
- コロナ禍における国、県、市などの各種支援策助成金等をまとめ兵庫区民へ情報提供  
(令和2年4月、6月に情報提供)

各種支援助成金まとめた市政報告



中央市民病院のコンテナ型CT室

### 2 子育て支援

- 神戸市の子育て支援応援サイトママフレの全面的リニューアルの実現  
(令和3年10月一般質問にて)
- 子育てプッシュ型通知(スマートシティ)の令和4年の実現  
(令和3年10月一般質問にて)
- 産後ケア事業の電子申請手続きの実現  
(訪問型産後ケア令和3年12月より順次実施)  
(令和3年10月一般質問)
- 兵庫区内の子育てサークルの活動費用支援の実現  
(令和3年5月兵庫区社会福祉協議会へ直接依頼7月に実現決定)
- 兵庫区での農業体験要望が実現  
(平野展望公園令和3年4月 ノエスタ農園令和3年3月)
- 兵庫区への子育て支援民間企業(大学)の進出と支援実施  
(常磐大学のときわんノエスタの実現)  
(令和3年2月予算特別委員会質問にて)
- 兵庫駅南子どもフェスタ地域スクラム連携による大学生派遣  
(令和2年7月)
- 青少年科学館の一部リニューアルの実現  
(令和2年2月代表質疑にて)
- 兵庫漁業協同組合による浜山小学校環境教育支援 (令和元年5月)



子どもたちのアマモの種植え



子育てサークルにて



ときわんノエスタ  
(ノエビアスタジアム)

## 3 福祉向上

- 高齢者や車椅子、妊産婦の方が乗りやすいユニバーサルデザインタクシーの神戸市内への普及(令和元年6月一般質問にて)
- 音響式信号機の設置要望と故障修理対応(令和3年7月に生田警察署へ依頼)
- 湊川グルメ北側大倉山線の急な坂道での手すりの設置(令和3年7月に設置)
- 介護ロボットの普及支援の加速(令和元年9月決算特別委員会質疑にて)



ユニバーサルデザインタクシー



坂道での手すり設置

## 4 スマートシティ

- 市民生活の豊かさと利便性向上させる市民中心のスマートシティの推進を数多く提言し、令和3年11月22日発表の久元市長三期目の施策方針にスマートシティ推進が掲載(令和元年6月一般質問令和2年2月代表質問令和3年9月決算特別委員会令和3年10月一般質問)
- 神戸市当局へスマートシティ推進を提言。第一段階としてスマートシティポータルサイトの令和4年での利用開始予定(令和元年6月一般質問令和2年2月代表質問令和3年9月決算特別委員会令和3年10月一般質問)



スマートシティポータルサイト



神戸市スマートシティ全体像

## 5 リサイクル、利便性向上

- 大型ゴミの再利用と食器のリサイクルの試験的に実施(令和3年10月一般質問)
- 大型ゴミのキャッシュレス決済の実現(令和3年3月予算特別委員会質問にて)



大型ゴミ  
キャッシュレス  
対応

大型ゴミ  
再利用



## 6 行政改革

- 神戸市議会でコロナ禍以前にGIGAスクール構想の推進を提言(令和2年2月25日代表質問にて)
- 市長会見のライブYouTube配信とそのリンク先の事前告知広報、会見項目の事前告知の実現(市長室広報にコロナ禍緊急時のため、個別要望を直接依頼令和2年4月、5月)
- 神戸市広報官のオンライン配信の実現(令和2年5月)

## 7 議会改革

- 神戸市会のペーパーレス議会を提言、試行実施を経て実現、年間380万円削減(ICT活用推進委員会に自民党会派を代表して参加し、数多く提言を行い令和3年9月議会より実施実現)
- コロナ禍に対応できるオンラインでの委員会実施のための条例改正の実現(ICT活用推進委員会に自民党会派を代表して参加し、数多く提言を行い議員提出議案として神戸市会委員会条例の一部を改正する条例を令和3年6月に施行)

## 8 その他

道路、公園、上下水道などの基盤整備の要望、交通安全のためのカーブミラー、信号、手すりなどの整備、その他日常のお困りごと、地域の諸問題などに対応いたしました。

自由民主党神戸市議員団 神戸市中央区加納町6丁目5-1  
電話 331-8181 内線 7060  
神戸市議員平野達司(たつじ)事務所  
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F  
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301  
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじ HP



平野たつじ Facebook  
神戸市の情報をお伝えいたします。

神戸市会の  
本議会、委員会を  
インターネットにて  
閲覧できます。



神戸市会